

平成 20 年（2008 年）岩手・宮城内陸地震に伴う対応状況

〔平成 20 年 6 月 23 日 16 時 00 分現在
総務部総合防災室〕

平成 20 年 6 月 14 日 8 時 43 分に震度 6 強が発生したことに伴い、岩手県災害対策本部を 6 月 14 日 8 時 43 分に設置し対応しておりますが、23 日 16 時 00 分現在の被害情報及び対応状況等についてお知らせします。

災害救助法の適用

一関市：平成 20 年 6 月 14 日（土）

北上市、奥州市、金ヶ崎町及び平泉町：平成 20 年 6 月 14 日（土）

1 住民等の被害

（1）人的被害：死亡 2 名、負傷 37 名

- ・奥州市 死亡 1 名（胆沢ダム工事現場）
負傷 32 名（玉里保育所 7 名、バス転落 8 名、その他 17 名）
- ・一関市 死亡 1 名（交通事故：地震に驚き飛び出し）
負傷 2 名（土砂崩れ 1 名、倒壊家屋 1 名）
- ・藤沢町 負傷 1 名（家を出た際に捻挫）
- ・平泉町 負傷 1 名（避難中に骨折）
- ・花巻市 負傷 1 名（避難中に負傷し、16 日医療機関受診後骨折が判明）

（2）物的被害

市町	被害棟数	被害状況
奥州市	206 棟	住家半壊（1）、住家一部破損（205）
一関市	90 棟	住家半壊（1）、住家一部破損（87）、非住家（2）
北上市	5 棟	非住家
花巻市	3 棟	住家一部破損
金ヶ崎町	25 棟	住家一部破損
平泉町	6 棟	住家一部破損（1）非住家（5）
合計	335 棟	

2 施設関係の被害

（1）医療機関等

11 施設で壁に亀裂、配管水漏れなど軽微な被害あり。

（2）社会福祉施設等

老人福祉施設：17 施設で軒下石膏ボード落下、外壁亀裂

障がい福祉施設：10 施設で窓ガラス破損、天井一部落下、時計の破損など

児童福祉施設：27 施設で窓ガラス破損、天井・壁に亀裂、タイルの剥がれ

（3）教育施設

被害のあった学校は次のとおり

【公立学校】

花巻市：小学校 2 校、中学校 2 校、幼稚園 1 園、高校 2 校、社会教育施設等 2 施設

北上市：小学校 14 校、中学校 6 校、幼稚園 2 園、高校 1 校、社会教育施設等 5 施設、文化財 1 施設

奥州市：小学校 23 校、中学校 11 校、幼稚園 5 園、高校 6 校、社会教育施設等 40 施設、文化財等 5 施設、**特別支援学校 1 校**

金ケ崎町：小学校4校、中学校1校、幼稚園3園、高校1校、社会教育施設等
3施設、文化財2施設
一関市：小学校12校、中学校11校、幼稚園3園、高校2校、社会教育施設
等16施設、特別支援学校1校、文化財10施設
平泉町：中学校1校
遠野市：高校1校
岩手町：高校1校
雫石町：高校1校
大船渡市：特別支援学校1校
釜石市：高校1校
矢巾町：中学校1校
西和賀町：中学校1校

1) 避難所となっている学校は、一関市本寺小学校(避難者40名)

【私立学校】

専大北上高校、一関修紅高校、水沢第一高校、一関学院、岩手医大歯科衛生専門
学校、修紅短大付属幼稚園、双葉幼稚園、瀧澤寺幼稚園、水沢学苑看護専門学校、
大堤幼稚園、盛岡女子高校、こじか幼稚園、千厩子羊幼稚園、仁王幼稚園におい
て、ガラス破損、校舎の壁にひびなどの被害。

(4) その他

いわてクリーンセンター

【焼却炉】機器冷却塔から水漏れ、ノズルが脱落し、コンプレッサー等の冷却機
能が保てない状況から焼却炉立ち下げ。6/17立ち上げ、廃棄物投入

【埋立処分場】固定工にひび割れ1箇所。対応不要。

【えさしクリーンパーク】食堂天井にひび割れ。対応不要。

産業技術短期大学校水沢校：体育館のトイレの壁と天井被害など

千厩高等技術専門学校：管理棟などの壁中心に損傷十数か所

県南広域振興局本局、北上総合支局、花巻総合支局において、亀裂、梁破損、
内壁剥離など

3 公共土木施設

道路 全面通行止め6路線6区間

片側交互通行3路線4区間

河川 胆沢川：堤防天端にクラック有り。

磐井川：斜面崩落により河道内に土砂流入(2箇所)

久保川：小規模な土砂崩落があり、堤防の一部にクラック発生。

尿前川：斜面崩落2箇所確認。

衣川支川有浦沢川：土砂崩落により河川閉塞。仮排水路を設置済

磐井川上流：斜面崩壊による河川閉塞計4箇所。

仮排水路開通、**22日排水ポンプ撤去**、監視カメラ3台設置

産女川上流：山腹崩壊により、1km以上に渡り土砂が堆積。

龍の口えん堤にワイヤーセンサー設置のため現地立入。

国土交通省：直轄砂防災害関連緊急事業での実施を発表。**除石準備中。**

北股川上流：斜面崩壊による河川閉塞を1箇所確認。

ダム 石淵ダム：堤体天端に湾曲あり。左岸下流法面に崩壊あり。

周辺道路通行止め。ダムの安全性に大きな問題は認められ
ないことから制限水位で維持。

胆沢ダム：転流工土砂閉塞 土砂撤去済

砂防 衣川地区で地すべりの報告を受けて調査中 対応策検討中。

TEC FORCE、砂防ボランティア及び県職員の合計61名が危険箇所を緊急点検。

累計1,645箇所 通行止箇所を除き完了。

都市公園 水沢公園、見分森公園、北野公園、久保公園、高台公園で一部被害。
えさし藤原の郷：亀裂等の被害あり

下水道 水沢浄化センターのタンクかくはん機などの故障

県営住宅 住宅本体の被害なし。微小ガス漏れ1件 措置済

一般住宅 15日に県庁に「被災建築物応急危険度判定支援本部」を設置
一関市：15日、16日に市職員と県職員で被災建築物応急危険度判定のための調査及び判定を開始。19日も実施。
奥州市：16日から市職員と県職員で被災建築物応急危険度判定を開始。20日も胆沢区、衣川区で実施。
西和賀町：16日に県職員で被災建築物応急危険度判定を実施、終了

宅地 一関市において被災宅地危険度判定を市職員と県職員で開始。
奥州市においても19日、20日に293件調査。
西和賀町においても18日に2件調査。

4 農林水産業施設

農地・農業用施設 **446箇所**
水路：北上市等の89箇所でパイプラインの破損など
ため池：奥州市、金ヶ崎町、一関市の**53箇所**でクラック等発生
ダム：奥州市の5箇所でクラック等発生
揚水機：一関市、金ヶ崎町、平泉町の**5箇所**で配管破損
水田：畦畔崩壊等**208箇所**（北上市ほか5市町）
畑：法面崩壊4箇所（一関市）
頭首工：堤体の亀裂等8箇所（一関市、奥州市、花巻市）
道路：舗装面の亀裂等**69箇所**（奥州市ほか2市町）
橋梁：橋台と床版のズレ等5箇所（奥州市、一関市）

農業施設 **60箇所**
耕種園芸：奥州市、北上市、一関市で倉庫・集出荷場のガラス等破損
畜産：奥州市、金ヶ崎町、西和賀町でサイロ倒壊など

農蓄作物 水稻、花き：一関市、奥州市の34箇所で土砂流入し、倒伏
畜産：肉牛用の死傷2頭（奥州市）

林業施設 **294箇所**：林道（261箇所）、治山施設（5箇所）特用林産施設（21箇所）
林産施設（3箇所）**作業道（4箇所）**

林地荒廃 **37箇所**：奥州市、一関市

林産物 34箇所：しいたけ栽培用の菌床落下、木炭窯の倒壊による消失

森林 34箇所56.1ha：立木被害（山腹崩壊、地すべりによる消失）

県有施設 生物学研究所、県緑化センター、林業技術センター、農業大学校、水沢競馬場で天井の破損、蛍光灯の破損、焼却炉煙突倒壊など

水産業 1箇所：内水面養魚場のイワナ稚魚約8万尾へい死

5 ライフライン

水道関係 断水： 326戸

{	奥州市衣川区北股簡易水道	0戸
	奥州市衣川区衣川簡易水道	300戸
	（平泉町13戸を含む）	
一関市巖美・萩荘簡易水道	26戸	

電力関係 東北電力：停電は全て復旧。
東北電力磐井川水力発電所で発電停止
電源開発：**胆沢第一発電所が6月23日に発電を再開。**
【企業局】胆沢第二：運転再開、発電所建屋の窓ガラス破損
導水路隧道コンクリート剥離等

J R 全線通常運転

し尿処理施設（1箇所）浄化槽（4基）に破損等の被害あり。

6 企業

・奥州市、北上市、金ヶ崎市、一関市、平泉町の企業の状況

【人的被害】避難時に負傷者1名

【物的被害】286社程度の企業から被害報告あり。

奥州市（110社）金ヶ崎町（14社）

一関市（154社）平泉町（7社）藤沢町（1社）

避難の状況

区分	避難勧告実施		自主避難		避難施設
	世帯数	人員	世帯数	人員	
奥州市			15	32	
避難所			8	15	衣川健康センター
親戚宅等			7	17	
一関市	23	69			
避難所	11	40			本寺小学校体育館
親戚宅等	12	29			
計	23	69	15	32	

【今後の支援策等】

- 地域振興部： 災害応急対策資金のあっせん
 普通交付税（市町村分）の繰上交付
 3市2町（北上市、奥州市、一関市、金ヶ崎町、平泉町）から繰上交付を希望する旨の回答があり、18日に申請を行なったもの。
 災害復旧事業債の要望・同意について
 市町村の資金の早期借入ができるよう、同意等の手続きを早める用意がある旨総務省から回答があり、その旨を5市町に伝達済み。
 市町村税の災害減免等に関する対応
 被災市町村に対する業務上の配慮
 職員の派遣について、17日一関市から派遣要請があり、関係部と調整した結果、6月23日から27日まで土木技師2名を派遣することとなった。
- 環境生活部： 県内外の複数企業から各種生活関連物資の無償提供の打診があるが、現在、市町村では地元対応で足りている状況を知らせるとともに、必要に応じて両市の災害対策本部窓口を紹介している。
 社団法人日本水道協会岩手県支部と応援体制の整備に係る協議を実施。
 岩手県旅館ホテル生活衛生同業組合及び岩手県公衆浴場業生活衛生同業組合に対して協力の依頼を行なった。
- 商工労働観光部： 中小企業者等対策
 相談窓口の設置と巡回相談等の実施
 金融支援： 岩手県中小企業災害復旧資金
 政府系金融機関にける災害復旧貸付制度
 観光関係 観光関係の被害情報を収集、発信
 県内の観光地は、被災地以外は受入態勢に支障がなく、宿泊施設も平常通り営業している。
 ・ホームページによる情報提供
 ・各種イベントやテレビを活用した情報発信
 JR上野駅において、6月21日にチラシ配布
 ・県外事務所等での情報発信

- 県土整備部：砂防 TEC-FORCE、砂防ポンプ及び県職員の合計 61 名が危険箇所を緊急点検。累計 1,645 箇所
- 一般住宅 一関市、奥州市で 16 日から被災建築物応急危険度判定を実施。
 - 宅地 一関市の被災宅地危険度判定の実施。
 - 河川砂防 斜面崩壊などによる河川閉塞の現地調査を実施し、復旧工事中。
- 農林水産部： 農業 金融対策、農業共済対策、技術対策、農業施設の復旧など
- 林業 林地崩壊への対応、治山施設被害への対応、技術対策
 - ・県は北股川上流地区の民有林崩壊地に土石流センサーを 6 月 22 日設置
 - ・林野庁は産女川上流に土石流センサーを 2 基設置、今後さらに磐井川上流真湯地区、尿前川地区に 2 基設置予定。
 - 水産業 養殖業者への技術指導
- 要望 国に対し、市野々原地区における地すべり災害の復旧に向け、「直轄地すべり防止対策関連緊急事業」の早期実施を要望
- 保健福祉部： 生活再建対策
- ア 融資制度、生活福祉資金、災害援護資金、生活福祉資金利子補給補助
 - イ 被災者生活再建支援金
 - ウ 災害弔慰金等の支給
 - エ 介護保険料等の徴収猶予・減免
 - 生活支援対策
 - ア 避難住民の健康管理対策
 - イ 要援護者等対策
 - ウ 災害時動物救護活動：現在まで 2 匹保護
 - 仮設住宅等
 - ア 応急仮設住宅：奥州市から、設置の必要性がある旨回答あり。
一関市からは、設置の必要性がない旨回答あり。
 - イ 被災家屋の応急修理：一関市、奥州市、金ヶ崎町において、応急修理の必要性等を調査中。
- 県警察本部： 避難所警戒、被災者支援活動
- 道路損壊箇所における交通規制及び交通誘導
 - 避難地区のパトロール等警戒活動
 - 新たな被害箇所の把握
 - せき止め湖下流域における広報活動
 - 須川方面に向かったと見られる未帰宅者 2 名（山形県）の捜索の継続

2008年岩手・宮城内陸地震に伴う災害被害状況

平成20年6月23日14:00現在
 岩手県総合防災室
 (総合防災室 内線5153)

区 分		数 量 ・ 被 害 額						担 当 部 課 等
人的被害	死者	2						人
	重傷者	9						人
	軽傷者	28						人
住家被害	全壊		棟		世帯			千円
	半壊	2	棟	2	世帯			千円
	一部破損	321	棟	321	世帯			千円
	床上浸水		棟		世帯			千円
	床下浸水		棟		世帯			千円
	計	323	棟	323	世帯			千円
非住家被害		12	棟	37,323				千円
農業関係被害	農業施設	60	件	163,852				千円
	農作物等	30.9	ha	6,756				千円
	畜産関係		kg	2	頭羽	303		千円
	農地農業用施設	446	箇所	1,357,000				千円
	計	1,527,911						千円
林業関係被害	林業施設被害	294	箇所	983,430				千円
	林産物被害	30,100						千円
	森林被害	56.1	ha	122,656				千円
	林野荒廃	37	箇所	5,747,677				千円
	計	6,883,863						千円
水産関係被害	水産施設		箇所					千円
	漁船		隻					千円
	漁具		箇所					千円
	養殖施設		台					千円
	水産物		kg		個(殻付かき)	1,000		千円
	計	1,000						千円
漁港関係被害 調査率 100%			箇所					千円
土木施設被害	河川	37	箇所	1,367,000				千円
	道路	347	箇所	12,099,452				千円
	橋梁	38	箇所	3,164,534				千円
	砂防	4	箇所	179,000				千円
	公園	1	箇所	1,000				千円
	海岸		箇所					千円
	港湾		箇所					千円
	下水道	2	箇所	99,600				千円
計	429	箇所	16,910,586				千円	
学校等被害		145	校	201,501				千円
消防施設被害		2	箇所	200				千円
庁舎等被害		8,186						千円
社会教育・体育・文化施設被害		91,445						千円
社会福祉施設被害		3,725						千円
観光施設被害		35	箇所	849,063				千円
	上水道	11	箇所	39,000				千円

医療衛生施設被害	簡易水道	18	箇所	356,000	千円	環境生活企画室(内線 5327)
	医療施設	10	箇所	31,762	千円	医療国保課(内線 5427)・医療局
	衛生施設	2	箇所	550	千円	環境生活企画室(内線 5327)
	計	41	箇所	427,312	千円	
商工関係被害	商業関係	161	箇所	98,547	千円	商工企画室(内線 5528)
	工業関係	125	箇所	112,707	千円	
	計			211,254	千円	
文化財関係被害		38	箇所	10,120	千円	教育委員会事務局教育企画室(内線 6108)
電力関係被害				11,850	千円	環境生活企画室(内線 5327)・企業局
鉄道関係被害					千円	地域企画室(内線 5203)
高圧ガス施設等被害			箇所		千円	総合防災室(内線 5556)
公営住宅等被害					千円	県土整備企画室(内線 5850)
船舶被害			隻		千円	総合防災室(内線 5153)
工業用水道被害					千円	企業局
鉄道関係被害					千円	地域企画室(内線 5203)
通信関係被害					千円	地域企画室(内線 5203)
(予備 1)					千円	
(予備 2)					千円	
(予備 3)					千円	
計				27,175,339	千円	